

薬学入門

責任者：西郡 秀夫 教授、高橋 勝雄 教授、上原 至雅 教授

担当講座（科）：構造生物薬学講座、有機合成化学講座、天然物化学講座、衛生化学講座、機能生化学講座、細胞病態生物学講座、微生物薬品創薬学講座、生体防御学講座、創剤学講座、薬物代謝動態学講座、神経科学講座、分子生物薬学講座、臨床医化学講座、薬剤治療学講座、臨床薬剤学講座

講義 39 時間

単位 3 単位

学 年

1 学年 前期 後期

学習方針

基本理念：

「命と向き合う医療人としての使命」、「社会へ貢献するために必要な礎」を提示し、生涯にわたって向上心と研究心を持ち続けることの重要性を自覚させる。

一般目標（GIO）：

医療人になることへの自覚を促すために、医療関連施設の見学、種々の体験学習を行い、健康の維持と疾病を治癒することの大切さを実感し、医療コミュニケーション、疾病解析と予防、治療薬を開発するための基本的知識、技能、態度と倫理観を身につける。

到達目標（SBOs）：

1. 「薬とは何か」を概説し、薬の発見と歴史について具体例を挙げて説明できる。
2. 鉱物、植物、微生物、動物由来の医薬品の具体例を挙げ、医薬品のシーズについて概説できる。
3. 医薬原料としての天然物質の資源を確保することに関する問題とその解決法について列挙できる。
4. 化合物が医薬品になり、使用されるまでの過程について概説できる。
5. 医薬品がなぜ効くかについて具体例を挙げて概説できる。
6. 医薬品の剤形とその特徴について概説できる。
7. 医薬品の服用と効果発現について概説できる。
8. 医薬品の患者さんへの適正使用と薬剤師の役割について概説できる。
9. 新規医薬品の開発に必要な基礎知識を整理できる。
10. 新規医薬品の創製に必要な知識と技能について例示できる。
11. 医薬品開発の糸口と成功例、先端医療を支える医薬品の開発について概説できる。
12. 医療統計などから、疾患の実態とそれらの推移を知り、薬学的視点から説明できる。
13. 疾病の予防および健康の維持・増進について、薬学的視点から概説できる。

14. 近年における疾患の発症実態とそれらの推移を知り、解決法を例示できる。
15. 麻薬、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグの健康への影響を概説できる。
16. 薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。
17. 人の誕生、成長、加齢、疾病、死の意味を考察し、医療と倫理的問題について概説できる。
18. 医療人としての倫理的規範、法律上の義務について列挙できる。
19. 救命救急法、心肺蘇生法、応急手当法の基礎を学び、模擬体験学習することによって、生命と向き合う医療人を自覚する。
20. 大学病院、薬局、各種施設などの医療現場を見学・体験学習（不自由体験など）し、患者さんの気持ち、医療チームを支える一員としての使命などについて討議する。
21. 相手の立場、文化、習慣、心理的状态によってコミュニケーションのあり方が異なること、またコミュニケーションの方法が例示できる。
22. コミュニケーションの取り方の基本を学び、体験学習する。
23. 医療の担い手としての自覚を持つために、医療に対する地域社会からのニーズへ目を向け、どのように対応したらよいか討議し、解決策を考える。
24. 薬剤師の社会における役割と生涯学習の重要性について考える。

講義日程

月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
4/17	木	3	薬学部長	二井 将光 教授	薬とその歴史
4/22	火	1	細胞病態生物学講座	北川 隆之 教授	薬学の学習方法と医療人としてのモラル
5/13	〃	〃	微生物薬品創薬学講座	上原 至雅 教授	薬のシーズと創薬(1)
5/20	〃	〃	天然物化学講座	藤井 勲 教授	薬のシーズと創薬(2)
5/27	〃	〃	神経科学講座	駒野 宏人 教授	医療の現状と薬学
6/ 3	〃	〃	創剤学講座	佐塚 泰之 教授	薬の誕生
6/10	〃	〃	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授	薬はなぜ効くのか(1)
6/17	〃	〃	薬物代謝動態学講座	小澤 正吾 教授	薬はなぜ効くのか(2)
6/24	〃	〃	薬剤治療学講座	西郡 秀夫 教授	薬はなぜ効くのか(3)
7/ 1	〃	〃	生体防御学講座	大橋 綾子 教授	生体防御と病気
7/14	月	〃	衛生化学講座	名取 泰博 教授	健康を守るための薬学
8/26	火	〃	臨床薬剤学講座	高橋 勝雄 教授	チーム医療における薬剤師の役割
9/ 2	〃	〃	薬剤治療学講座	西郡 秀夫 教授	早期体験学習の意義
9/18	木	〃	〃	〃	健康を蝕む薬物
10/ 9	〃	〃	細胞病態生物学講座	北川 隆之 教授	基礎科学の重要性
10/16	〃	〃	有機合成化学講座	畠中 稔 教授	医薬品の創製に必要な基礎知識(1)
10/23	〃	〃	構造生物薬学講座	野中 孝昌 教授	医薬品の創製に必要な基礎知識(2)

月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
10/30	木	1	生体防御学講座	大橋 綾子 教授	人の一生と医療に関わる生命倫理(1)
11/ 6	〃	〃	〃	〃	人の一生と医療に関わる生命倫理(2)
〃	〃	3	〃	〃	人の一生と医療に関わる生命倫理(3)
11/13	〃	〃	〃	〃	人の一生と医療に関わる生命倫理(4)
11/20	〃	〃	〃	〃	人の一生と医療に関わる生命倫理(5)
12/ 4	〃	1	微生物薬品創薬学講座	上原 至雅 教授	先端医療を支える医薬品の開発(1)
12/ 8	月	〃	分子生物薬学講座	前田 正知 教授	先端医療を支える医薬品の開発(2)
12/18	木	〃	機能生化学講座	二井 将光 教授	先端医療を支える医薬品の開発(3)
1/15	〃	〃	薬剤治療学講座	西郡 秀夫 教授	生涯学習の重要性

早期体験学習

①平成20年4月24日(木) [13:10~15:45]

心肺蘇生法講習、不自由体験

②平成20年9月22日(月)~10月3日(金) <9日間>

調剤薬局見学、附属病院見学、附属病院薬剤部見学、製薬企業見学、模擬体験、感染対策講習等

教科書(教)・参考文献(参)・推奨図書(推)

	書名	著者名	発行所	発行年
参	スタンダード薬学シリーズ1 「ヒューマニズム・薬学入門」	日本薬学会 編	東京化学同人 (定価4,200円)	2005.4.

※ 授業毎に配布する資料を使用する。

成績評価方法

定期試験、レポート及び出席状況を総合的に評価する。

オフィスアワー一覧

授業を担当する専任教員氏名	方式	曜	時間帯	備考
構造生物薬学講座 野中 孝昌	B-i			
有機合成化学講座 畠中 稔	B-ii			研究室に問い合わせる。
天然物化学講座 藤井 勲	B-ii			事前にアポイントを取る。
衛生化学講座 名取泰博	B-i			事前に連絡があると確実です。
機能生化学講座 二井 将光	B-ii			研究室に問い合わせる。
細胞病態生物学講座 北川 隆之	B-ii			研究室に問い合わせる。

授業を担当する専任教員氏名	方 式	曜	時間帯	備 考
微生物薬品創薬学講座 上原 至雅	B - ii			研究室に問い合わせる。
生体防御学講座 大橋 綾子	B - ii			事前にメールか電話で問い合わせること。
創剤学講座 佐塚 泰之	B - i			事前に連絡があれば良し。
薬物代謝動態学講座 小澤 正吾	B - ii			メールにてアポイントを取ること。
神経科学講座 駒野 宏人	B - ii			研究室に問い合わせる。
分子生物薬学講座 前田正知	B - i			事前に連絡があればなお良い。
臨床医化学講座 那谷 耕司	B - i			事前にメールや電話でアポイントがあると確実です。
薬剤治療学講座 西郡 秀夫	A - i			不在の時もあるので、研究室に問い合わせること。
臨床薬剤学講座 高橋 勝雄	B - ii			メールにてアポイントを取ること。